Smile Action Tokachi
その笑顔が、十勝を動かしていく。

企画・制作／十勝毎日新聞社

Smile Action From Town ＃トカチのチカラ

十勝には、自然・食・人々など、たくさんの“チカラ”があります。十勝毎日新聞社では、管内19市町村の活動と情熱にフィーチャーし、未来を担う人たちや取り組み、これからも残していきたい資源など、まちの魅力を徹底報道します。

広尾町のチカラ

Photo：広尾サンタランドと市街地

HIROO

DATA

●人口 2021年8月末時点
6,404人

●町の木 オンコ
●町の花 ツツジ
●町の鳥 カモメ

●町名の由来

アイヌ語の「ピルイ」から転訛（てんか）したものといわれる。「ピ」は転がるの意。「ルイ」は砥石（といし）を意味し、東西広尾川の合流点にある青い石を、アイヌは砥石に使用していたことから、この地名が起きたといわれている。

「Smile Action Tokachi」に、ご協賛いただいたみなさま

リフォームプランニング あったかホーミング
池田町ブドウ・ブドウ酒研究所（北海道池田町 十勝ワイン）
時計・宝石・メガネ 石岡
株式会社 石橋建設
有限会社岩野商事
SMBC日興証券
Orchestrating a brighter world NEC
NK GROUP
F/LEAD
豊かな十勝の未来のために 帯広信用金庫
SUBARU 帯広スバル自動車株式会社
帯広日産
MITSUBISHI MOTORS Drive your Ambition 帯広三菱自動車販売株式会社
AKT/O グループ 共成レンテム RENTAL SYSTEM CONDUCTOR
釧路トヨタ自動車㈱
湖 KOIKEYA
Coca-Cola
斉藤井出建設株式会社
乾杯を もっとおいしく。 SAPPORO
SANYO KONETSU 三洋興熱株式会社
ひとの ときを、想う。 JT
総合コンサルタント 株式会社 ズコーシャ
総合商研株式会社
SoftBank
そら
Think globally Act locally 株式会社 土谷特殊農機具製作所
TKS SINCE 1874 株式会社 東京機械製作所
お客様と共に次の今を創る。 TOYO 東洋株式会社
東洋タクシー有限会社 Obihiro Toyo Taxi Company
十勝海運株式会社
TOKACHI 株式会社 十勝大福本舗
帯どりの 鳥せい チェーン
株式会社ナカジマ薬局
Nikon Trimble
NOBELS ノベルズグループ
萩原建設工業株式会社
フクハラ
FUJIFILM Value from Innovation
FURUKAWA ELECTRIC GROUP
社会医療法人 北斗
北洋銀行
北海道糖業株式会社
MATEC
健康にアイデアを meiji
うらほろ! 株式会社 ユーエム
UD TRUCKS UDトラックス道東株式会社
北海道のおいしさを、まっすぐ。 よつ葉
Rakuten 競馬
北の自然薯 柳月
レクサス帯広
楽しいをデザインする LOGOS HOME 株式会社 ロゴスホーム
Wada Koumuten 株式会社 和田工務店

未来向けた漁業と農業、医療も充実

広尾町長　村瀬　優

これまで地域の自立と豊かな暮らしを旗印にまちづくりを進めてきました。それにより町内では未来に向けて考える力、主体的に行動する機運が広がりを見せており、その中で現在は「活力と安心」をキーワードとして町政に取り組んでいます。

まず活力の面では、近年の漁業不振の中、地元漁協による育てる漁業が進められています。これまで行ってきたウニの種苗生産技術を生かし、新たに十勝港にウニ養殖施設を設置。それと同時にウニの餌となるコンブの養殖施設を併設することにより、すべて広尾町の海洋資源のみでつくり育てる「完全養殖」を目指し、広く漁業者が従事できる「広尾町の新たな漁業」の確立に向けた取り組みが行われています。

また農業の担い手育成の取り組みとして、農林人材育成支援センターを整備し、宿泊型の研修施設を生かした体験から実践、そして就農までサポートする「広尾町農活チャレンジ応援事業」を推進し、全国から人材が集まる次世代型の楽しい農業の確立を目指します。

次に安心の面では、地元の国保病院にMRI（磁気共鳴画像装置）が導入され、北斗病院と連携したがん検診を実施しています。これまで帯広市まで行く必要があったMRI検査への負担が大幅に軽減され、ICT（情報通信技術）を活用して北斗病院の専門医による画像検査も行うことができ、予防医療の充実が図られました。

また運転免許証を持たない75歳以上の高齢者に対し、町内でタクシー及びバスの乗車に利用できる助成券を交付する事業の準備を進めています。高齢者の日常的な外出を支援し、社会参加及び健康増進に資する取り組みとして、本格運行に向け今年度は実証実験を行います。

十勝港で今年度から行われているウニとコンブの養殖事業（広尾漁協提供）

広尾町は今年、第6次まちづくり推進総合計画をスタートさせ、「海・山・川が織りなす、希望が灯るサンタランド・ひろお」として、自然豊かなサンタランドの町民参加により、未来に希望が持てるまちを目指す将来像を掲げています。たくさんの方々に来ていただき、楽しんでいただける広尾町を目指し、町民の皆さんとともにまちづくりに取り組んでまいります。

サンタの町「ぬくもり」ここに

大丸山の「家」9日に新装

カフェや若者雑貨も

広尾町といえば、サンタランド。サンタクロースの故郷ノルウェー・オスロ市から国内唯一の認定を受け、37年が経過した。そんなサンタのまちが今年、装いも新たに再始動する。

9日にリニューアルオープンするサンタの家。飲食の提供や若者向け雑貨の販売が新たに始まる

サンタランドの聖地となっている大丸山森林公園内の観光案内所「サンタの家」は9日にリニューアルオープンする。「通年で人が集まる場所」をコンセプトに、飲食物の提供を新たに開始。今季から従来のクリスマスグッズに加え、NKユナイテッド（帯広市）が運営する衣料・雑貨店「SWEAT」の若者向け雑貨も取り扱う。

サンタの家は、今年度から指定管理者制度が導入され、運営は町北方圏交流振興会（会長・村瀬優町長）から地元企業のO2（オーツー、尾矢利昭社長）に移行している。

リニューアルに向けて6～9月に改修を行った。1階には厨房（ちゅうぼう）を新設し、当面はコーヒーやジュースなどのソフトドリンク類、菊地ファーム（広尾）のカップアイスを販売。今後は軽食も提供する。

2階は海や街並みが見下ろせるカフェスペースとし、30人ほどが座れる飲食や交流の場に。フリーWi－Fi（ワイファイ）も備え、担当するO2の面野一取締役は「観光客に加え、学生など一般の町民が気軽に足を運ぶ場所になれば」と期待する。23日以降は同公園内を鮮やかなイルミネーションが彩る。

サンタの家2階のカフェスペースからは海や街並みなど屋外の景色が楽しめる

SWEATは音更店を旗艦店とし、札幌市など道内で9店舗を展開する人気店。音更店以外で雑貨を販売するのは管内で初めて。クリスマスシーズン以外の集客につなげる考えだ。

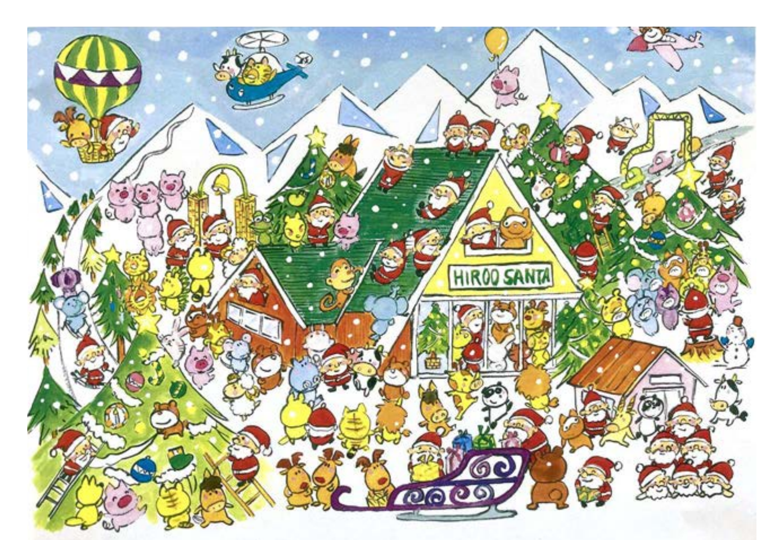
営業時間は10～12月は午前10時～午後8時。原則無休。新型コロナウイルス対策の緊急事態宣言が出た場合は飲食はできず、テークアウトのみで対応する。

観光客も町民も集まる場に

カード絵柄も決定

広尾から届くクリスマスカード「ひろおサンタメール」は、今年から「ひろおサンタカード」と名称を変更し、一般公募から選ばれた愛らしい今季の絵柄も決まった。事業を行う同振興会は「今年はカードを開けたときにわくわくするような仕掛けも予定している。楽しみにしてほしい」としている。

また、町は同公園の展望台につながる林道を整備する予定で、展望台から夜景やホタルの観賞などを楽しむミニツアーも構想する。日高山脈襟裳国定公園の国立公園化に向けた取り組みと連動した観光振興も検討しており、新たな魅力づくりに取り組むサンタランド事業から、これからも目が離せない。



「ひろおサンタカード」の今年度の絵柄。サンタの家などが愛らしく描かれている

サンタの家スタッフの（左から）三浦尚美さん、保志加奈子さん、村田優美さん。右奥は新たに設置された厨房スペース

期待のハードラー　廣冨葵士選手（広尾高2年）

パリ五輪を「目標に」

今夏、インターハイ5位入賞

全国制覇、記録更新狙う

石館監督（左）の指導を受けながら練習に励む廣冨選手

各自のレベルアップに向けて意気込む廣冨選手（前列中央）ら広尾高陸上部員

8月のインターハイ陸上男子110㍍障害で14秒17の十勝新・十勝高校新をたたき出し、2年生で5位入賞を果たした広尾高の廣冨葵士（あと）選手（17）。上位4人は全員3年生で、来年の優勝候補に躍り出た。

広尾町出身。2学年上の兄礼生さんの影響で広尾中1年から陸上を始めた。同競技は中学2年で十勝1位に。当時、現陸上部監督の石館亮一教諭（36）が広尾高に赴任。礼生さんが進学したこともあり、高校に足を運んで指導を受けた。強豪高からの誘いはあったが、「一緒にやってきた人たちと陸上をやりたい」と広尾高へ進んだ。

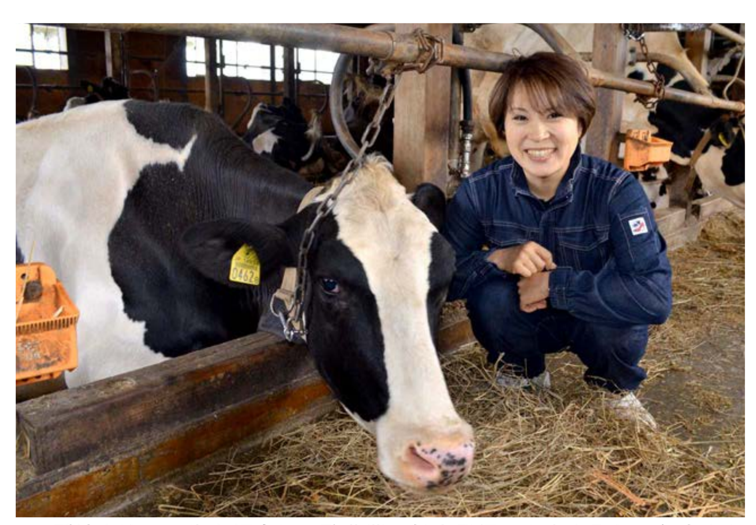
身長182㌢の恵まれた体格に加え、石館監督は「とても素直で、伝えたメニューを疑問なくこなす。大舞台で緊張せず実力を発揮できるメンタルも大きい」と強みを話す。「広尾の子どもたちが広尾高校で頑張れば、先輩のようになれると感じてもらえれば」と波及効果も期待する。

広尾中3年時、インターハイに向けた目標を立てた。「高1で出場、高2で決勝進出、高3で優勝」。高校1年時は大会自体が中止となったが、高2の目標は達成。来年も有言実行を目指す。そして、道高校記録13秒99の更新にも挑む。同記録は石館監督と同学年だった岩船陽一さん（当時東海大四3年）が2003年インターハイ優勝時に樹立。石館監督は「ぜひ教え子に塗り替えてほしい」と注目する。

今夏の東京五輪。廣冨選手は同競技をテレビ観戦し、「レベルの違いを感じた」と話すが、準決勝に進んだ泉谷駿介選手は21歳と世代は近い。3年後のパリ五輪は「自分も大学生になるので目標にしている」としっかり照準を定めている。

女性酪農家、ラジオDJも務める角倉円佳さん（38）

生き生き働く姿を発信



愛情を注いで牛を飼育し、酪農業の魅力発信にも力を入れる角倉さん

ゲストを招き、ラジオブースで番組を進行する角倉さん（左）

「野球選手に憧れる子どもはいても、酪農家はまずいない。それは仕事の様子が分からないから。生き生き楽しく自分らしく働く酪農家を知ってほしい。自分を通じて発信できれば」

株式会社マドリン（広尾）代表で女性酪農家の角倉円佳さん（38）にはラジオDJの顔もある。2020年1月からFM－JAGA（帯広）で番組「とかちウーマンフロンティア」を持ち、毎週土曜朝に酪農に関わる女性などをゲストに招いて紹介している。

全国の酪農女性を集めた「酪農女性サミット」を17～19年に計3回開き、実行委員長として尽力。現在はコロナ禍で人を集めたイベントができず、「興味がある人とお話しできるラジオがあって運がいいなと思います」。19年7月から農水省の食料・農業・農村政策審議会委員を務め、現在はオンライン会議で酪農の現状などを伝えている。

多くの人と出会い、刺激を受け続けていることが原動力。「今春に離婚し、24歳でマドリンの会社を始めた頃と同じ状況になった。でも、女性一人でも酪農業はできる」と同社ホームページで活動を紹介する。大学生などの受け入れ用に敷地内の空き家をリフォームしたばかり。「帯広畜産大生は女性が多い。さまざまな経験を積めるよう力になりたい」と北海道農業士として若者の支援にも積極的だ。

とっておきの魅力教えます！！

みてコレ！ 十勝わがまち自慢

町有林生まれ木材のブランド化サンタランド・ウッドのランタン

広尾町の森林は「サンタの森」と呼ばれています。何十年もかけて大切に育てた木々は、町民の共有財産として次の世代に引き継いでいかなければなりません。町が以前から取り組んでいた、町有林から伐（き）り出した木材（広尾サンタランド・ウッド）のブランド化定着にむけて、同素材を使用したランタンづくりに取り組みました。

大学で環境デザインを学び、前職でビル・サッシの設計を担当していた私は、以前からモノづくりに興味があり、町へ移り住んでからずっと胸に秘めていた企画です。地域の人たちと役場の職員が集まる会議で思い切って発表してみると、多くの賛同が得られ、一気に実現へと動き出し、指導をしてくれた木工家の斗沢誠さんをはじめ、40人くらいが関わってくれました。町の皆さんからたくさんのアドバイスをいただき、次々とバージョンアップさせていくと、設計段階より数段上のレベルのものが完成しました。

サンタランドで、ツリーの点灯式が行われる10月23日から年明けまで、「サンタの家」につながるアーチに真新しい1000個のランタンが並びます。幻想的な光が「恋人の聖地」の新たな名物になってくれることを願っています。

（町地域おこし協力隊　澤村拓也）

竹田与（たけだ・ひとし、写真右）

1986年生まれ。東京都出身。北翔大学卒業後、東京に戻り、介護職、ショップ店員などを経て、今年4月から町地域おこし協力隊。企画課企画防災係で、移住や定住対策を担当し、海と山が両方ある広尾町の魅力を全国へ発信している。

澤村拓也（さわむら・たくや、写真左）

1992年生まれ。瀬戸内海に浮かぶ愛媛県の岩城島出身。金沢大学卒業後、大手住宅設備メーカー勤務を経て、今年4月から町地域おこし協力隊。農林課に所属し、林業の推進活動に従事している。

「ふるさと納税返礼品人気ランキング」で常に上位に推されている、広尾町産オニクルミ材のカッティングボード。1万7000円以上の寄付でもらえる。

みてコレ！

作品はすべてハンドメード 家具雑貨工房Ki-ki ru（きーきる）

澤村さんが指導を仰いだ斗沢誠さんが6年前、脱サラして帯広市内から移住して立ち上げた工房。テーブルやイスなどの大型家具も雑貨もすべて斗沢さん夫婦によるハンドメード。町内だけでなく、全国の人に支持されている。商品の一部は、町のふるさと納税返礼品に提供されている。広尾町野塚6線。不定休。

みてコレ！

放牧牛の生乳の絶品ソフトクリーム 菊地ファームカフェ

放牧による酪農を営む隣接のファームが、2018年にオープンしたカフェ。ソフトクリームは、季節によって味が変わる放牧牛の生乳を使用しており、竹田さんは「濃厚だけど後味がさっぱり」と、一度食べてすぐにとりこになったという。搾乳の役目を終えたホルスタインなどの肉を使った、ハンバーガーも人気。広尾町野塚11線8番地。水、木定休。

みてコレ！

十勝港で揚がった新鮮な海の恵み 広尾漁業協同組合食品部直売所

十勝港の広尾漁協冷凍工場に隣接する海産物の直売所。干し魚、煮ツブ、シーフドミックスなど、旬の海産物加工品が手に入る。澤村さんイチオシはバラたらこ。「どんな料理にも使いやすくて、お値段もお手ごろ。パスタやパンにそのまま塗ってもおいしいです」と絶賛する。広尾町会所前3丁目38番地。日曜定休。

十勝港を基点とする総合物流企業

十勝海運株式会社

http://www.tokachikaiun.co.jp

私たち十勝海運㈱は「アグリポート」
十勝港を拠点に明日の日本の「食」を支え、
国内産業発展の一翼を担う総合物流事業を展開。
経済活動に不可欠なお客様の物流ニーズを
トータルにサポートいたします。

可能性あふれる豊かな地域づくりに貢献します。

本社/〒089-2605　北海道広尾郡広尾町会所前5丁目6番地　TEL 01558-2-2128・FAX 01558-2-4896
札幌営業所/〒060-0051　札幌市中央区南1条東1丁目2-1太平洋興発ビル2F　TEL 011-210-8550・FAX 011-210-8520